



せら高原の こだわり米

[特別栽培米]

ガイド

こだわり米と
田んぼの生きものの
育て方

みんなつながっている

製作・発行

JA尾道市世羅営農センター

TEL 0847-22-1173

<http://www.ja-onomichi.jp>

製作協力

ヒョウモンモドキ保護の会

広島ダルマガエルの会

せら夢公園 自然観察園

世羅郡水田農業推進協議会

JA全農ひろしま

デザイン：キノコスタジオ 中村由佳



2009年 改訂版

特別栽培米をご存知ですか？

生きものにも気づかいながら、農業や化学肥料の使用を通常の半分以下に抑えて育てる特別栽培米を私たちは「せら高原のこだわり米」と呼んでいます。特別栽培米づくりは人と環境を考えた未来へつながる持続型農法です。

せら高原のこだわり米3つのこだわり

■ 自然へのこだわり ■

せらの豊かな自然は私たちの宝です。多くの生きものは農業や林業という人の暮らしや営みの中で育まれてきました。私たちはこれからも「せらの自然とともにある」ことにこだわります。

■ 安全・安心へのこだわり ■

農業は自然と人の協働の営みです。農業や化学肥料はなるべく使わない方が良いでしょう。せらのお米を育てる豊かな自然は、安全・安心の証であり安全・安心は私たちのこだわりです。

■ 美味さへのこだわり ■

おいしいお米は二度味わってほしいと思います。一度は舌で、二度目は心で。せら高原をそよぐ風を思い浮かべれば美味しさもひとしおです。私たちはせらにしかない美味しさにこだわります。



ご存知ですか？いろいろな制度

■ エコファーマー ■



「土づくり・減化学肥料・減化学農薬」という3つの技術で、環境にも人にも優しい農業に取り組む農家の愛称のことで、知事が認定する制度です。こだわり米の生産者は全員エコファーマーです。

■ 安心！ひろしまブランド ■



食の安全・安心の確保と地産地消を目的に、化学合成農薬と化学肥料を慣行使用の5割以下に抑えて栽培した広島県産の農産物等を対象にした認証制度です。

check

せっかく丹念に育てた特別栽培農産物を価値のあるものとして出すためには、品種別に申請する必要があります。
凡例として：うるち米=コンヒカリ もち米：ヒメノモチ など その年収穫予定の農産物の登録をして、収穫2週間前までに認証の申請を出しましょう。

■ 農地・水・環境保全向上対策 ■

農業者や地域住民が一緒になって生きものをはじめとする地域の自然環境を守る取り組みや、エコファーマーを応援する新しい政策が始まりました。世羅町でもこの支援を受けて、地域ぐるみで環境を守る取り組みが始まり、多くの集落農業法人で「せら高原のこだわり米」の栽培を行っています。自然環境を守る取り組みには、地域以外からの参加も期待されています。

みんな大切 いのちのつながり



step up!

- ・生きものを見てみよう
- ・農業体験に行ってみよう
- ・保全活動に参加しよう

もっとある
私たちにできること

※(農)は農事組合法人の略です



世羅町では、農薬や化学肥料を減らすだけでなく、
多様な生きものと共生する米づくりに取り組んでいます。
それぞれ地域の特徴を活かした活動をしています。



せら夢公園 自然観察園
自然や生きものを
学べるフィールド

生きもの博士が教えてくれる
せら台地の動植物を守り・育てる環境
づくりを行い、訪れた人達にせらの自然
を紹介しています。また、せら町全
体の取り組みも支援しています。
TEL 0847-25-4400



黒川地区：(農)くろがわ上谷+黒川上谷夢クラブ
ヒヨセは生きもののオアシス
できることから始めています



ヒヨセを復活させたり、草刈り
時にノアザミを残したり、でき
ることから取り組んでいます。
田んぼ教室ではカスミサンショ
ウオや赤トンボなどの生きもの
の観察が人気です。



生まれる場所を
つくって
ありがとう

くろがわのヒヨセで生まれた
カスミサンショウオの赤ちゃん



上谷地区：(農)かみだに+上谷地域環境守り隊
地域ぐるみで環境を守る
みんなで守る

国の新しい政策である
「農地・水・環境保全向上対策」
の実施に先がけ、上谷地区では
平成18年のモデル事業として
農業者と地域住民が一緒になっ
て地域の環境を守る取り組みを
すすめました。



めだかの放流
地域みんながめだかの
ビオトープを手作りしました



川尻地区：
(農)聖の郷かわしり
+水土里ワーク川尻

タモロコのための
田んぼ魚道

田んぼの大区画化工事の際、生
きもの調査をしました。その結
果、田んぼで産卵するタモロコ
がいることがわかり、田んぼと
水路を結ぶ魚道を設けること
にしました。



魚の
これは
道です



タモロコ



生きもの調査をしました

田打地区：(農)さわやか田打
+田打のふるさとを守る会
水辺の生きもののための
田んぼビオトープ

ふれあい田んぼ教室

(農)さわやか田打では、全ての田んぼで特別
栽培米を育てています。



田んぼビオトープ

田んぼの中には
ビオトープを作り、
一年中水を切らさ
ないことで水辺の
生きもの環境を
整え、子どもたち
に農業体験や生き
もの観察の場を提
供しています。



田んぼビオトープで
生まれた
モートナイトトンボ

小谷地区：(農)たさか+伊尾・小谷たえクラブ
+小谷地区農地・水・環境を守る会
カエルも育てる米づくり

絶滅寸前のダルマガエルやギフチョウを守れ！

小谷地区では、すみかを失ったダルマガエル
の第二のふるさとづくりに取り組んでいます。
ダルマガエルのためにビオトープを作ったり、
収穫の遅い品種「あきるまん」を栽培しています。
カエルになるまでは田
んぼの水を切らしません。
できたお米は「ダルマ
ガエル米」として販売
しています。
ギフチョウ保護区では
里山の下草刈りなども
行っています。



水路に落ちたカエルの避難ハシゴ



カエル仙人
登場？



ダルマガエルの
保護に取り組む
井藤文男さん

賞

「伊尾・
小谷たえクラブ」
が平成20年度(第6回)
田園自然再生活動
コンクールの
最優秀賞である
農林水産大臣賞を
受賞しました！



せらの取り組みが
注目されています

せら高原の 田んぼの 生きもののごよみ

世羅地域の田んぼやその周りで生活する主な生きものたちです。今日はどの生きものに出会いましたか？

なまえを知ると
親近感がわいてきますね



ヒョウモンモドキ

羽根を広げた大きさは6~7cmくらいで、成虫は6月に見られます。湿地に生えるキセルアザミの葉の裏側に卵を産みつけ、幼虫はその葉を食べ

て成長します。成虫はあぜに咲くノアザミの花の蜜をエサにしています。1960年代までは全国13県にいましたが、2000年以降は広島県だけになってしまいました。ヒョウモンモドキ保護の会は、世羅町・久井町・大和町の生息地で草刈りやノアザミの増殖などの保全活動に取り組んでいます。(ヒョウモンモドキ保護の会は、平成20年度(第5回)田園自然再生活動コンクールで「オーライ!ニッポン賞」を受賞しました。)



サシバ

代かきの前に東南アジア等から日本に渡って来るタカ。田んぼに沿ったマツ林に巣を作り、カエルや昆虫類等を食べます。生きものの豊かな農耕地のシンボルです。



ナマズ

4本の長いひげと大きな口を持つあいきょうのある魚です。川や池に棲み、水草の茂った場所や大きな石のかけを好んで棲んでいます。5月中旬~7月上旬頃、田んぼの水草や泥底にばらま



カスミサンショウウオ

2月ごろにヒヨセや湿地などの水たまりにやってきて、透明なバナナ状の卵塊を産みます。普段は田んぼのまわりの林にすみ、昼間は落葉の下などに隠れ休んでいます。



クサガメ

ため池の水底で冬を越し春に田んぼに現れます。雑食性で、水草や昆虫やエビなどを食べます。6月頃に田のあぜや池の土手に穴を掘って産卵します。

分類	種名	田んぼとその周りで見られる時期											よくいる場所	
		冬			春		夏			秋				
		12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
鳥類	チュウサギ (RDB)													田んぼ
	サシバ (RDB)													田んぼのそばの林
	ツバメ													人家
爬虫類	クサガメ													田んぼ
	イシガメ (RDB)													田んぼ
	シマヘビ													田んぼ
	ヤマカガシ													田んぼ
	ヤマアカガエル													田んぼ
両生類	シュレーゲルアオガエル													田んぼ
	トノサマガエル (RDB)													田んぼ・あぜ
	イモリ (RDB)													ヒヨセ
	カスミサンショウウオ (RDB)													ヒヨセ
魚類	メダカ (RDB)													田んぼで増える
	タモロコ													田んぼで増える
	ナマズ													田んぼで増える
	ドジョウ													田んぼで増える
昆虫類	ゲンゴロウ (RDB)													田んぼ・あぜ
	タイコウチ (ウマ)													田んぼ・ヒヨセ
	ミズカマキリ													田んぼ・ため池
	アキアカネ(赤とんぼ)													田んぼ
	モートンイトトンボ (RDB)													田んぼ・湿地
	チョウトンボ													ため池
	ヒョウモンモドキ (RDB)													田んぼのあぜ・湿地
	ヘイケボタル													田んぼ
甲殻類	ホウネンエビ													田んぼ
	カブトエビ													田んぼ
	モノアラガイ (RDB)													ヒヨセ
植物	花が見られる時期											よく生える場所		
	ヤマトミクリ (RDB)													ため池
	オグラコウホネ (RDB)													ため池
	サギソウ (RDB)													湿地・田んぼのあぜ
	キキョウ (RDB)													田んぼのあぜ
	オミナエシ													田んぼのあぜ
	ノアザミ													田んぼのあぜ
	ヒガンバナ													田んぼのあぜ
	キセルアザミ													田んぼのあぜ
	ミズマツバ (RDB)													田んぼの水
イチョウウキゴケ (RDB)													田んぼ・ヒヨセ	
シロバナタンポポ													田んぼのあぜ	

RDBとは：レッドデータブックの略で、日本の絶滅のおそれのある野生生物の種について、それらの生息状況を取りまとめたものです。ここでは特に注意して保護をしていただきたいので表記しました。



タイコウチ(ウマ)

湿った水路などで冬を越し、春に田んぼに現れます。カマ状の前あしで弱い生きものを捕まえて、鋭い口で獲物の体液を吸います。おしりの管を水面に出して呼吸します。



ゲンゴロウ

ゲンゴロウの情報募集!
今の世羅町の田んぼで見つけるのは容易ではありません。隣の御調町の生息地では地域ぐるみでゲンゴロウも育てる米づくりが取り組まれています。



モートンイトトンボ

オスの胸は鮮やかな緑色、腹部はオレンジ色というトンボ界きっての美男子。名前はイギリスのトンボ学者ケネス・モートン先生にちなんで名づけられたハイカラさんです。



イチョウウキゴケ

唯一水面に浮遊するコケ植物で水が無いところでは地面で生育します。イチョウの葉に似ていることから、この名前がついています。



サギソウ

湿地に生育します。7月~8月に純白の花を1~3個咲かせます。花の大きさは約3cmで、白鷺が両翼を広げて舞っているような姿をしています。



ヤマトミクリ

川やため池の浅い水中に生える抽水植物の一種です。草丈約50cmばかりとなり、夏ごろ栗の実のような小花が多く開きます。



キキョウ

秋の七草であるアサガオはこのキキョウとされていますが、8~9月が花の盛りです。適度に草刈などの手入れが行われている道端や林縁に生育しています。



オグラコウホネ

スイレン科の水生植物です。コウホネとは「河骨」と書き、長く伸びた地下茎が白骨のように見えることからこの名があります。9~10月頃黄色い花を咲かせます。



キセルアザミ

キセルアザミは本州・四国・九州に分布する多年草・アザミの仲間です。湿地や山間の田んぼのあぜ際・ヒヨセなどで見ることが出来ます。

花期は9~10月で名前キセルのように花の付け根が曲がっていることに由来します。絶滅に瀕するヒョウモンモドキの幼虫はキセルアザミの葉を食べ、成虫はノアザミの花の蜜を餌にしています。ヒョウモンモドキ保護の会では蝶の保全のためにアザミの保全と増殖にも取り組んでいます。



